

政令番号304 ほう素及びその化合物

各都道府県での届出事業所以外からの「排出源別排出量/使用目的別使用量」（平成19年度）

(E+nは×10<sup>n</sup>、例えばE+3は×1000の意味です。)

都道府県コード	都道府県名	排出量/使用量(kg/年)							合計
		裾切以下事業所	自動車等移動体	塗料	洗剤・化粧品等	農薬	農業用以外殺虫剤	その他	
1	北海道	2.4E+3						3.1E+2	2,687.4
2	青森県	2.1E+3						5.0E+1	2,164.6
3	岩手県	2.0E+3						9.3E+1	2,119.9
4	宮城県	1.4E+3						1.6E+2	1,590.9
5	秋田県	1.3E+3						4.5E+1	1,382.9
6	山形県	1.6E+3						4.7E+1	1,605.0
7	福島県	3.7E+3						7.0E+1	3,799.5
8	茨城県	7.1E+3						1.1E+2	7,254.1
9	栃木県	3.7E+3						6.7E+1	3,744.2
10	群馬県	3.9E+3						6.8E+1	3,938.1
11	埼玉県	5.0E+3						1.8E+2	5,228.4
12	千葉県	2.9E+3						1.9E+2	3,118.4
13	東京都	1.3E+3						4.7E+2	1,760.0
14	神奈川県	2.7E+3						1.9E+2	2,915.4
15	新潟県	3.3E+3						9.8E+1	3,407.8
16	富山県	1.6E+3						8.8E+1	1,665.7
17	石川県	3.0E+3						5.3E+1	3,007.3
18	福井県	1.9E+3						7.5E+1	2,020.6
19	山梨県	2.3E+3						6.0E+1	2,384.6
20	長野県	1.9E+3						1.6E+2	2,075.1
21	岐阜県	1.3E+4						8.0E+1	13,087.7
22	静岡県	5.1E+3						2.0E+2	5,287.8
23	愛知県	1.8E+4						2.2E+2	18,590.5
24	三重県	6.8E+3						1.4E+2	6,952.6
25	滋賀県	3.4E+3						3.4E+1	3,415.8
26	京都府	2.3E+3						8.2E+1	2,382.7
27	大阪府	7.5E+3						2.0E+2	7,697.4
28	兵庫県	4.3E+3						1.4E+2	4,440.9
29	奈良県	1.8E+3						3.7E+1	1,864.4
30	和歌山県	2.3E+3						8.1E+1	2,380.0
31	鳥取県	6.4E+2						2.3E+1	658.9
32	島根県	1.9E+3						2.6E+1	1,941.6
33	岡山県	5.4E+3						5.1E+1	5,485.8
34	広島県	2.6E+3						9.5E+1	2,651.4
35	山口県	2.8E+3						7.5E+1	2,913.4
36	徳島県	2.4E+3						5.4E+1	2,484.2
37	香川県	3.8E+3						7.6E+1	3,897.4
38	愛媛県	4.2E+3						3.4E+2	4,539.7
39	高知県	1.2E+3						1.1E+2	1,288.2
40	福岡県	3.2E+3						1.5E+2	3,341.8
41	佐賀県	4.1E+3						7.5E+1	4,192.0
42	長崎県	6.1E+3						1.5E+2	6,278.9
43	熊本県	1.9E+3						1.7E+2	2,026.7
44	大分県	2.6E+3						1.1E+2	2,745.6
45	宮崎県	1.1E+3						1.2E+2	1,265.3
46	鹿児島県	1.6E+3						4.2E+2	2,043.6
47	沖縄県	2.2E+3						3.2E+1	2,230.4
	全国	1.7E+5						1.2E+6	1,390,926.2

注)「その他」のうち「製品使用に伴う低含有率物質」の排出量は、都道府県別の推計ができないため、都道府県合計と全国合計は一致しない。